

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和元年度～令和4年度）
研究開発課題名	精神障害のゲノム変異を起点としたバイオリソースと臨床情報の活用による非競争的フェーズにおける産学連携創薬の基盤構築
代表機関名	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学
研究開発代表者名	尾崎 紀夫

総合評価：優れている

【評価コメント】

精神障害発症に関わるゲノムバリエーションに基づいた創薬研究で、患者由来 iPS 細胞の樹立、ヒト神経細胞動態・形態に対する化合物薬効評価、ゲノム変異モデルマウスの作製と表現型解析に関し種々の表現型を同定する等、種々の成果とそれに基づく競争フェーズでの複数共同研究への移行も進み、当初の目標は達成できている。参画企業との連携のもと、創薬基盤構築のための種々の成果が得られたことは産学官共同研究の主旨に合った成果であり、評価される。確立したプラットフォームがどのような成果をもたらすかを注視したい。今後、開発候補化合物の獲得など、実用化に向けた研究をさらに進展させることを望む。

以上